

情報数学A + 離散構造
情報科学類・1-2クラス
授業について

2020年 4月 20日最終更新

担当： 亀山幸義（前半5回）、西出隆志（後半5回）

2020年度 春学期

この授業の対象者は？

- 情報学群の「情報数学A」は4つ、また、特別な用途の「離散構造」の授業もあります。必ず、自分が受講すべき授業を履修してください。

科目名	科目番号	担当教員	主な対象者
情報数学A	GA15111	西出、亀山	情報科学類1年生 1、2クラス 情報科学類2年生
情報数学A	GA15121	長谷部	情報科学類1年生 3、4クラス 情報科学類2年生
情報数学A	GA15131	佐野	情報メディア創成学類生
情報数学A	GA15141	若林	知識情報・図書館学類生
離散構造	GB10914	西出、亀山	2018年度までの情報科学類入学者 2020年度までの情報科学類3年次編入学者 情報科学類で教職免許取得希望者
離散構造	GB10924	長谷部	同上（どちらの授業を選んでもよい）

※ GA15111とGB10914は同じ授業、GB15121とGB10924は同じ授業です。

授業資料・履修登録など

- この授業のすべての資料は **manabaシステムから提供**します。
- まず、**TWINSで履修登録**をしてください。その翌日から、manabaのこの授業のページにアクセスできるようになります。
- もし、履修しないことを決めたら、履修登録を外してください。（外さないままにしておくと、「D」の成績がつきます。）

質問は、以下の手段で受け付けます。

- 電子メール 亀山 kam@cs.tsukuba.ac.jp
西出 nishide@risk.tsukuba.ac.jp
- manabaシステムの掲示板
- 上記のほか、「TV会議形式で教員と学生が直接しゃべる（質問する）」手段を用意することを検討中です。

教科書

- 以下の本を教科書として使用します。自分で入手してください。

論理と集合から始める数学の基礎

嘉田 勝 著

日本評論社、2008年

ISBN 978-4-535-78472-7

- 定価2600円 + 消費税
- 「丸善雄松堂」でネットで購入すると割引あり
 - TWINSの「お知らせ」2020/4/17 参照
- なお、授業2週目までは教科書未入手でもわかるよう資料を整備します。
- 他人の教科書を丸ごとコピーして使うと著作権法違反になります。



受講生の皆さんがやるべきこと

- 授業は10回分あり、1回が2コマ分（150分）の内容です。
- それぞれの回では、
 - 教科書の指定された章を理解し、
 - manabaにある授業資料（スライド、資料、例題など）を理解し、
 - **各回の最後に「演習問題」を解いて、それをmanabaから提出してください。**
- **演習問題の出題と解答提出**
 - 各回の演習問題の解答提出には「締め切り」があります。
 - 毎週勉強して演習問題を解いてください。
 - なお、「本来の授業時間」にやらないといけない、ということはありません。
（出席はとりません。）manabaやネットが混雑する時間帯は避けるとよいです。
 - 質問はメールなら24時間いつでもいいです。直接しゃべりたい場合は、こちらから対話可能な時間を指定するので、そのときにオンラインで質問してください。
- **最後に、まとめとなる「期末試験」相当をやります。**
 - 期末試験もオンラインでの実施となりますが、詳細な実施形態は検討中です。

最後に、

- 今年度の授業は、オンラインとなり教員側も手探りの部分が大
きいです。
- 学生の皆さんは、「新しいチャレンジ」と前向きにとらえてく
ださい。
- そして、教員・TAと一緒に頑張って授業を成功させることに協力
してもらえたら大変ありがたいです。